

アイスフォッグ

学籍番号 201610796

山田将喜

そもそもアイスフォッグとは

氷霧(こおりぎり)

微細な氷の結晶が大気中に浮遊して視程が1km未満となっている状態。

予報では霧とする。—気象庁 | 予報用語 | 雪に関する用語 から引用



アイスフォッグとダイヤモンドダストの違い

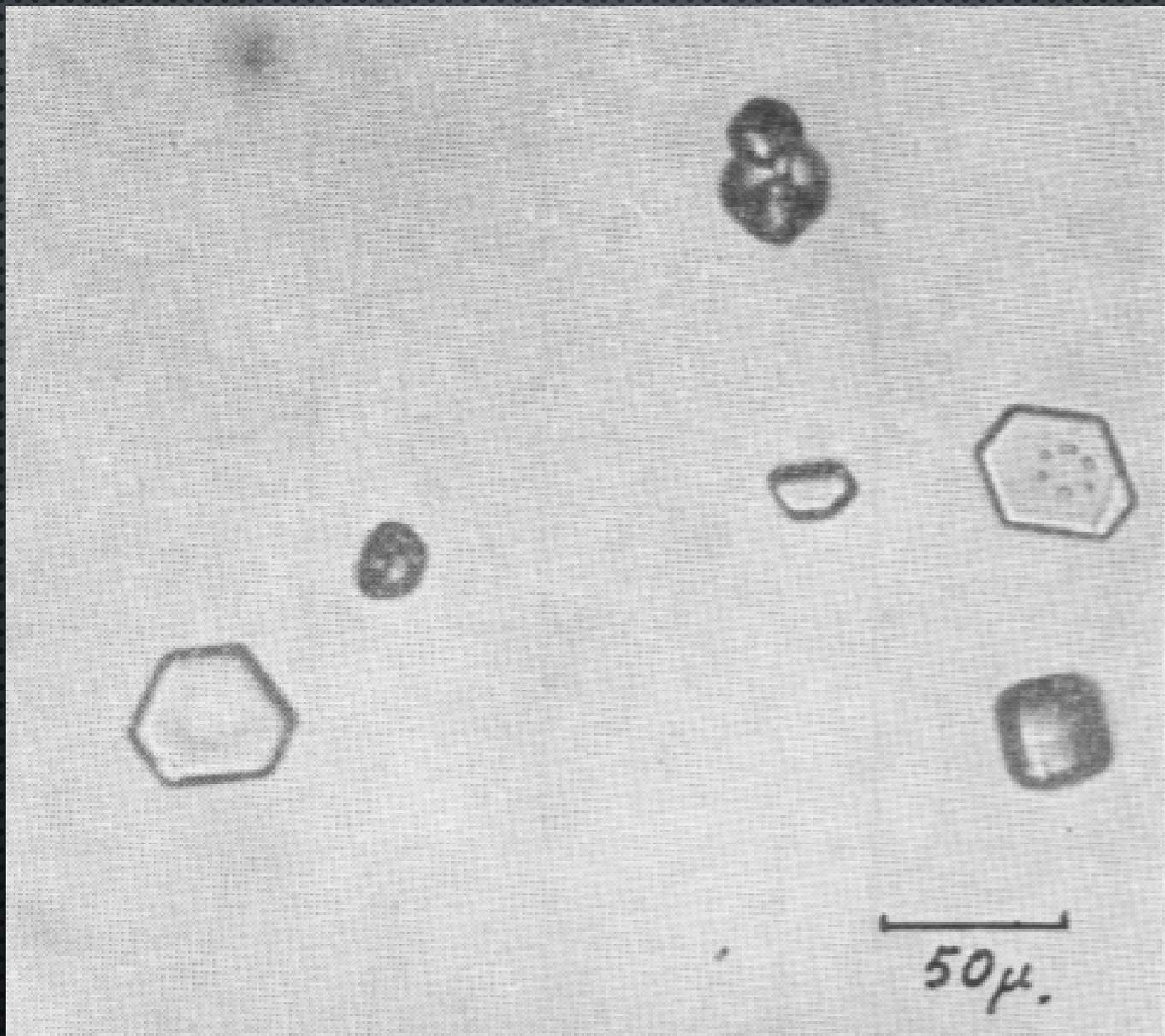
アイスフォッグ(氷霧)	名称	ダイヤモンドダスト(細氷)
霧	分類	降水
<1km	視程	1km<



アイスフォッグの気象条件(アラスカの場合)

- ・ 特徴

- 自動車の排気ガス等に含まれる水蒸気が直接凝固する。
- 約 -30°C 以下で瞬時に固体となる。



アイスフォッグの気象条件(旭川の場合)

・ 特徴

—石狩川等からもたらされる水蒸気が接地逆転層により冷やされ、過冷却霧粒を経て凝固する。

・ 条件

- ①雲は少なく、風が弱いか全くない。
- ②湿度が高い。
- ③気温が十分低く下がる。





100 μ

参考文献

- 旭川地方の氷霧とその観測 桜井健一 1974年
- 気象庁 HP